「PIC Shifter」取扱説明書

PIC-MC01

PIC Shifter

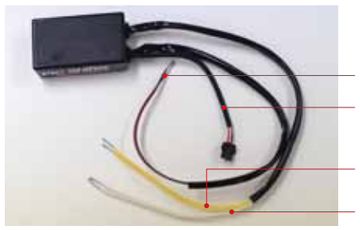
「PIC Shifter」本体の仕様

PIC Shifter
PIC-MC01

- 本体サイズ／W70×D40×H25(㎜)
- シフターSW用3心ケーブル／約110㎜
- カット用リード線(黄・黄／白・白)／約350㎜×2組
- 電源(9V～18V)用リード線(赤・黒)／約350㎜
- 接点形式/機械式リレーによるb接点出力で接点容量=AC250V5A、DC30V5A
- カットタイムを30msから5msステップにて105msまで16段階調整可能
- ディレイタイムを0msから1msステップにて15msまで16段階で調整可能

※ディレイタイムとは、シフター用SW-ONから、カット出力送出までの遅延タイムを表す。

「PIC Shifter」配線仕様



「PIC Shifter」内部SW仕様

■カットタイム設定表

0	30msec
1	35msec
2	40msec
3	45msec
4	50msec
5	55msec
6	60msec
7	65msec
8	70msec
9	75msec
A	80msec
B	85msec
C	90msec
D	95msec
E	100msec
F	105msec

■ディレイタイム設定表

0	0msec
1	1msec
2	2msec
3	3msec
4	4msec
5	5msec
6	6msec
7	7msec
8	8msec
9	9msec
A	10msec
B	11msec
C	12msec
D	13msec
E	14msec
F	15msec

近接センサースイッチ仕様

PICシフターは近接センサースイッチ以外の他社製シフタースイッチとも互換性があります。詳細はお問い合わせください。

PICシフターを作動させるスイッチは耐久性に優れた非接触タイプの近接センサー(別売)を推奨しております。これは誘導型のスイッチで、金属が近づくと反応してスイッチ回路が動作する仕組みになっています。鉄だと約4ミリ、アルミだと2ミリ以内に近づくと反応します。センサーの大きさは、よくあるUSBメモリーより小さいので取り付け位置も色々と選べます。

【近接センサー仕様】
オープンコレクタータイプ
茶：12V　青：アース　黒：信号(アースへ落ちます)

近接センサー(通常時)

近接センサー(スイッチON)

近接センサーの取付例

PICシフターを作動させるために近接センサーを車体に取り付ける必要があります。近接センサーはシフトアップの動作を感知させるため、取り付けに工夫が必要です。
下記の取付例を参考に、お客様自身で取付位置の確認やステーの作成をしてください。

KAWASAKI KSR110

KAWASAKI GPZ

DUCATI 749R

DUCATI 748R

DUCATI SS900ie

KAWASAKI ZX-6R

近接センサー位置または感知させる金属の位置を調整できるよう、工夫する必要があります。

近接センサー位置の調整

シフトを1速に入れた状態から、シフトペダルを操作し、2速に入る手前でスイッチが入るよう調整してください。(近接センサーが金属を感知し、スイッチがONになるとLEDランプが点灯します。)
セットが終われば実際に走行し、スイッチONのタイミングを調整してください。

通常時

スイッチON

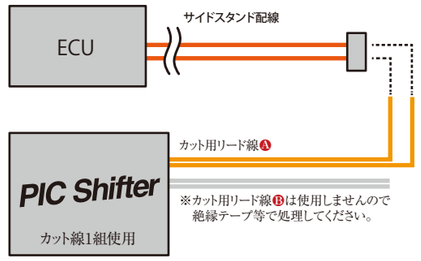
PICシフター本体・近接センサーの取付に自身がない方は、お近くの「PICシフター取付協力店」に取付を依頼してください。
また、別売の「**近接センサー専用シフトリンク**」をお使いいただくと、近接センサーの取付・調整が簡単に行えます。

「PICシフター」の取付例

PICシフター本体から出ている黄×黄および白×白のリード線をオートバイ側の配線に割り込ませてご使用ください。
車体側の配線割り込み箇所に関しては各車付属の配線図または各メーカーへご確認ください。また配線加工に関しましては

接続例 #1　サイドスタンド配線へ接続

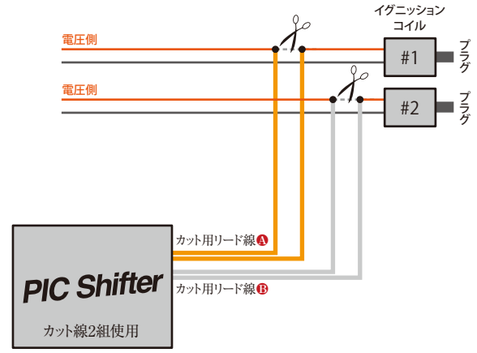
●サイドスタンド配線(B接点仕様)に割り込ませて使用。
※車種によっては誤作動防止機能等によりご利用いただけない場合があります。
※サイドスタンド配線への接続ではエンジン回転パルスを取得する事はできません。



※サイドスタンド配線は車種によりエンジンカットのシーケンスが異なります。場合によっては**エンジンカットから復帰の際にタイムラグが発生しシフトチェンジの際に衝撃が出る場合があります**。カットタイミングを変更しても衝撃が軽減されない場合、ミッションへの負担が大きくエンジントラブルの原因となりますので、サイドスタンド配線での使用を中止し、他のカット回路へ接続を変更してください。

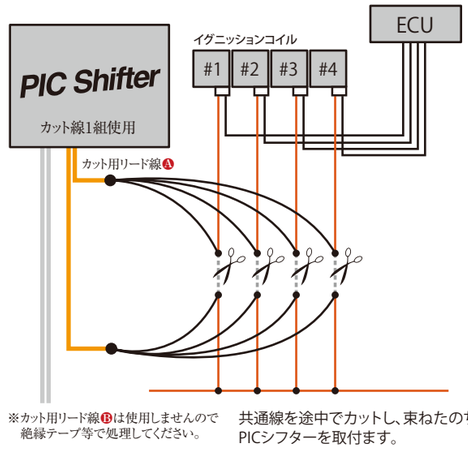
接続例 #2　イグニッションコイルが2つの車輌

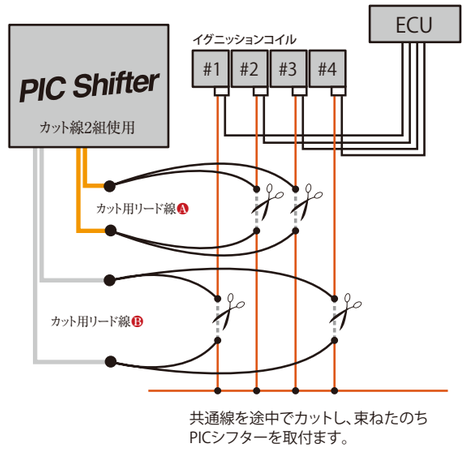
●イグニッションコイル1次側の「電圧線」に割り込ませて使用。



接続例 #3　イグニッションコイル・ダイレクトイグニッション共通線へ接続

●イグニション共通線へ割り込ませて使用。





注意事項

- PICシフターはエンジンの回転数に関係なく作動しますので、低回転時やニュートラルに入れる際にエンジンストールする場合がございますのでご注意願います。
- PICシフター本体に**バッテリーから直接電源を入力する場合、走行後はかならずバッテリーから配線を外してください。**バッテリー上がりの原因となります。
- PICシフター本体に**振動が直接伝わらないよう"目が粗くて柔らかいスポンジ等で包んで"タイラップで固定してください。**
- PICシフター本体は防水処理を施しておりません。**雨天時・洗車時など本体に水が入らないようご注意ください。**
- PICシフター本体に**エンジンの熱が直接あたらないよう、取付位置に注意してください。**
- PICシフター本体への電源が落ちてもエンジンは停止しませんが、シフターが故障すると、エンジンが停止する場合があります。
- PICシフター本体基盤等の改造・改変、商品ラベルの変更(貼り替え、取り外し等)は、修理・交換の対象外となりますのでご注意願います。
- 外観、使用部材の種類については、改良のため予告無しに変更する場合があります。
- 製品の取り付け、使用による物理的・人的・金銭的な被害についての保障責務は、製品製作者及び販売者には一切無いものと致しますので、ご了承願います。
- PICプログラムを無断で解析・改変・複製する事を禁止します。